

工場別データ

知多工場



所在地 愛知県東海市
生産品目 特殊鋼鋼材、型鍛造製品、帯鋼製品
敷地面積 1,117千m²
操業開始 1962年



工場長 鹿嶋 忠幸

●環境方針

- 環境保全を工場長および全従業員が一致協力して推進します。
- 環境目標を設定し、定期的に見直しを行い、全従業員で環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 環境に関する法規制はもとより、県、市、業界および地域との取り決め事項を順守します。
- 環境負荷低減および環境改善を継続的に推進するため、次の活動に積極的に取り組みます。
 - ①環境汚染の予防
 - ②省エネルギー、温室効果ガス排出量の削減
 - ③省資源（持続可能な資源の利用）、廃棄物削減・再利用・再資源化の促進
 - ④事業活動において影響する生物多様性、生態系の保護の考慮
 - ⑤環境に優しい技術・製品の開発・供給
- 全従業員に、環境に関する教育・訓練を実施し、資質の向上に努めます。

●重点取組事項

- 粉じん、ばいじんの発生、飛散防止
- 排水処理に影響を与える汚水の漏洩防止
- 副産物の最終処分量削減
- PCB廃棄物の調査および処分
- エネルギー使用量削減
- 環境関連資格取得者の増加
- 風水害激化への対応

大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん (g/Nm ³)	電気炉(5基)	0.04	0.009	<0.002
	貫流ボイラー No. 5～No. 10	0.01	<0.002	
	小型圧延加熱炉	0.01	<0.002	
NOx (ppm)	貫流ボイラー No. 5～No. 10	90...70	25	14
	小型圧延加熱炉	80	66	51

水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質 (mg/L)	カドミウム	0.03	<0.003
	シアン	1	<0.1
	有機燐	1	<0.1
	鉛	0.1	<0.02
	6価クロム	0.5	<0.04
	砒素	0.1	<0.01
一般項目	総水銀	0.005	<0.0005
	pH	5.5~8.5	7.4 7.0
	COD	20	2.5 1.4
	SS	30	3 <1.0

星崎工場



所在地 名古屋市南区
生産品目 ステンレス鋼、工具鋼、チタン
敷地面積 330千m²
操業開始 1937年



工場長 渡辺 剛

当工場は、名古屋市南部の市街地に位置するステンレス鋼・工具鋼の製造拠点であり、チタン、高合金、ターゲット材などの生産も行っています。

●環境方針

- 全員参加によるCSR遵守とSDGsへの貢献の推進
- コンプライアンス強化による企業の社会的責任の遂行
 - 省エネ、省資源による地球温暖化防止と循環型社会の形成
 - 環境管理レベル向上による環境汚染予防の強化
 - 地域との連携と地域と共に発展する工場づくり

●重点取組事項

- コンプライアンスの強化
環境不適合リスクの低減
- 環境リスク低減
自然災害（豪雨・津波）による工場冠水リスク評価と対策の実行
- 管理レベル向上
環境設備の保全管理レベル向上、省エネ推進、CO₂削減活動
- 地域貢献
地域とのコミュニケーション、緑化推進
- 環境ISO14001体制の強化

大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん (g/Nm ³)	5号貫流ボイラー	0.05	0.004	<0.002
	大型圧延均熱炉	0.20	0.011	<0.002
	線材圧延加熱炉	0.20	<0.002	
NOx (ppm)	5号貫流ボイラー	150	37	4.4
	大型圧延均熱炉	130	69	26
	線材圧延加熱炉	130	74	70

水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質 (mg/L)	カドミウム	0.03	<0.003
	シアン	1	<0.1
	有機燐	1	<0.1
	鉛	0.1	<0.02
	6価クロム	0.5	<0.04
	砒素	0.1	<0.01
一般項目	総水銀	0.005	<0.0005
	pH	5.8~8.6	7.4 7.1
	BOD	25	3.7 0.8
	SS	30	11.0 <1

築地テクノセンター



所在地 名古屋市港区
生産品目 金属粉末
敷地面積 144千m²
操業開始 1918年



センター長 小島 伸二

●環境方針

- 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、関連会社と共に汚染の予防に努めます。
- 事業活動が環境に与える影響を十分認識し、環境関連法規制、公害防止協定等を順守すると共に、地域住民との交流を積極的に進め、地域と調和した企業づくりに努めます。
- 効率的な事業活動を通じて、消費エネルギーの大半を占める電力消費量の低減、廃棄物リサイクルなどの推進、および環境に優しい製品の供給、開発に努めます。
- 活動の推進に当たっては、環境目標を設定し、更に定期的な見直しを行って環境の保全に努めます。
- 全従業員に環境に関する教育・訓練を実施し、資質の向上に努めます。

●重点取組事項

- 法規制順守・地域と調和した企業づくり
- 環境管理レベルの向上とEMSによる継続的な改善

大気

特定施設なし

水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質 (mg/L)	カドミウム	0.03	<0.003
	シアン	1	<0.1
	鉛	0.1	<0.02
	6価クロム	0.5	<0.04
	砒素	0.1	<0.01
	総水銀	0.005	<0.0005
一般項目	pH	5.8~8.6	7.5 7.0
	BOD	25	13.0 <0.5
	SS	30	5.0 <1

工場別データ

渋川工場



所在地 群馬県渋川市
生産品目 火造品、金型用素材、鍛造用ブルー
ムなど
敷地面積 180千m²
操業開始 1937年



工場長 広瀬 尚史

三方を山々に囲まれ、水と緑が豊かな渋川市の中心部に位置し、世界最大規模の特殊溶解設備を有し、ジェットエンジン、発電機タービンなどにも使用されるハイスベックな高級鋼、超合金を生産しています。

●環境方針

1. 汚染の予防
 - ① ライフサイクルを通して汚染物質を管理し、環境への影響をゼロにします。
 - ② 工場から排出される水・ガス・廃棄物等において法規制を順守するために適正な管理を行います。
2. 環境の保護
 - ① 省エネルギーの推進により温室効果ガスを削減し、地球温暖化の防止に努めます。
 - ② 化学物質の管理を行い、環境へ与える影響をゼロにします。
 - ③ 地域との共同参画により生物多様性の維持および生態系の保護に努めます。
3. 持続可能な未来社会の実現
 - ① 製造技術の向上に取り組み廃棄物の発生量を削減します。
 - ② 副産物リサイクルを推進し、廃棄物最終処分量を削減します。
 - ③ 地球にやさしい技術・製品の開発・供給により製品サイクルの延長、天然資源使用の削減に貢献します。
 - ④ 全従業員に、環境に関する教育・訓練・情報提供を行い、感性の向上を図ります。

●重点取組事項

1. 環境リスク低減
排水・排煙処理設備能力増強により工場内外の環境影響低減
2. CO₂排出量削減
歩留改善、ムダなエネルギーの抑制によりCO₂排出量の削減推進
3. 地域対策
近隣地域への環境配慮を重視するとともに、ふれあいフェスティバル開催による地域との交流拡大

大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん (g/Nm ³)	ボイラー	0.05	—*	
	調質焼鈍炉	0.20	0.010	<0.002
	鍛造加熱炉	0.25	0.022	<0.002
NOx (ppm)	ボイラー	150	68	66
	調質焼鈍炉	180	41	6
	鍛造加熱炉	180	150	16

※5年に1回(次回2023年11月)

水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質 (mg/L)	カドミウム	0.03	<0.003
	シアン	1	<0.1
	有機燐	1	<0.1
	鉛	0.1	<0.01
	6価クロム	0.5	<0.04
	砒素	0.1	<0.01
一般項目	総水銀	0.005	<0.0005
	pH	5.8~8.6	7.7 7.1
	BOD	25	2 <1
	SS	50	7 <2

王子工場



所在地 東京都北区
生産品目 焼入帯鋼、帯鋸
敷地面積 9千m²
操業開始 1955年



工場長 佐藤 巧

当工場は、製材用帯鋸を中心とした刃物および自動車用クラッチなどに使用される高品質・高機能素材を生産しています。

●環境方針

東京都心に位置する工場として、環境保全活動をスパイラルアップさせながら地域・地球環境に優しい工場づくりを進めています。

●重点取組事項

1. 環境汚染の防止
 - ◆ 環境設備の保全管理維持を行っています。
 - ◆ CO₂排出量削減のため、熱処理炉の歩留まり向上施策を行い、原単位を向上させ、省エネルギーの推進をしています。
2. 省資源化
 - ◆ 購入資材(砥石・梱包)の原単位向上および間紙・ダンボール等のリサイクル資源化および廃棄物の削減を図ります。
3. 緑化の推進
 - ◆ 隅田川遊歩道整備に合わせ緑地増設を行っています。

大気

特定施設なし

水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質 (mg/L)	特定施設なし	—	—
一般項目	鉱物油	5.0	<2.5
	動植物油脂類	5.0	<2.5

中津川テクノセンター



所在地 岐阜県中津川市
生産品目 磁石、鋳鋼品
敷地面積 110千m²
操業開始 1990年



センター長 小島 伸二

●環境方針

1. 工業団地、地域の環境保全に対する活動に積極的に参加します。
2. 構内各社との連絡体制、点検、監視の更なる充実で、環境コンプライアンス0'を目指します。

●重点取組事項

1. 構内各社の意思疎通を十分に行い、必要な環境対策を行います。
2. 地域との関係を重視した環境保全に取り組みます。
3. 必要な環境のモニターを整備し、構内外の汚染を防止します。

大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん (g/Nm ³)	ボイラー	0.1	0.002	
	焙焼炉	0.1	0.004	
	加熱炉 (熱処理炉)	0.4	0.004	
NOx (ppm)	ボイラー	122	77	64
	焙焼炉	176	13	7
	加熱炉 (熱処理炉)	144	29	25

水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質 (mg/L)	カドミウム	0.03	<0.003
	シアノ	1	<0.1
	有機燐	1	0.23
	鉛	0.1	<0.01
	6価クロム	0.5	<0.04
	総水銀	0.005	<0.0005
一般項目	pH	5.8~8.6	7.3
	COD	30	5.0
	SS	40	≦1

君津工場



所在地 千葉県君津市
生産品目 型鍛造製品
敷地面積 22千m²
操業開始 1968年



工場長 大橋 寛人

当工場は、日本製鉄株式会社東日本製鉄所君津地区構内に立地し、高速精密鍛造機により型鍛造製品を生産しています。

●環境方針

私たちの生産活動が地球環境に影響を与えていることを理解し、従業員全員参加のもと、環境保全活動に取り組みます。

●重点取組事項

1. 環境リスクの低減
排水経路への漏油防止として、各設備の発生源対策および監視、管理体制を構築していきます。
2. 省エネ、省資源活動の推進
生産効率向上による投入エネルギーのミニマム化を推進しています。
廃棄物の削減を目指し、分別によるリサイクル化を推進しています。
3. コンプライアンスの強化
法規制内容を正しく理解するため、継続的に従業員教育を行っています。

大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん (g/Nm ³)	多目的熱処理炉 (MP炉)	0.05	<0.002	
NOx (ppm)	多目的熱処理炉 (MP炉)	50	23	9

水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
一般項目	pH	5~9	8.0
	COD	25以下	5
	SS	50以下	14

君津工場の排水は生活排水と雨水のみで、その他の排水施設がないため有害物質の測定は実施していません。